

評価書（事務局案）の補足説明

平成 26 年度の業務実績評価について（1 ページ）

「公立大学法人長岡造形大学 業務実績評価（年度評価）実施要領」を記載。

評価結果

1 全体評価（2、3 ページ）

後述の「2 大項目別評価」及び「3 事業単位・指標単位評価」を総合的に勘案し、「中期計画の進捗は順調である」と評価した。

2 大項目別評価（4～12 ページ）

A 評価（中期計画の進捗は順調）

「教育」、「研究」、「地域貢献」、「自己点検・評価、情報公開」

B 評価（中期計画の進捗は概ね順調）

「国際交流」、「業務運営」、「財務」、「その他業務」

判断基準

大項目を構成する事業単位・指標単位項目に対する a 評価の数で単純に判断するのではなく、事業単位と指標単位の両面から大項目全体を総合的に勘案して評価した。

3 事業単位・指標単位評価（13～36 ページ）

前回、法人から示された「業務実績報告書」の右側に、事務局の評価とコメントを付した。

法人の自己評価と事務局の評価が異なる箇所は、2 か所であり、法人の自己評価が b 評価であったものを a 評価とした。

- ・ 16 ページの No.19（キャンパスの植林整備）

キャンパスの美化だけでなく住民や米国との交流も視野に入れた整備に取り組んでいる。

- ・ 32 ページの No.89（作品展示機会の創出）

平成 26 年度に初めて実施したヤングアートディスプレイなどで、作品を広く市民に紹介する機会を新たに創出している。

その他

前回の委員会で出された委員からの意見については、以下のように評価に反映した。

- ・ 16 ページの No.17（外部研修に参加した教員による研修の実施）

今後は教員の外部研修への参加とその教員による研修会を計画的に実施するようとのコメントを付した。

- ・ 34 ページの No.91（ハラスメント防止等の研修の実施）

今後は学生だけでなく、教職員に向けても啓発を行い、公立大学の教職員としての倫理向上に努めるようとのコメントを付した。

- ・ 35 ページの No.100（防災拠点の整備、防災訓練の実施）

地域と一体となって防災に取り組むと同時に、自宅外から通う学生が増加している現状を踏まえ、今まで以上に安全対策の充実に努めるようとのコメントを付した。